

交付金 5年間で 7億6000万円減

減り続ける

平成18年度決算を認めました（歳出総額94億円）

一人当たりの借金21万円（福岡市は92万円）

9月定例会は9月7日から26日まで20日間の会期で開かれました。

18年度一般会計および特別会計決算認定。19年度の補正予算など議案13件、人事案件6件要望書1件について審議を行い、要望書を継続審査として残りすべて原案通り可決しました。

一般質問は9月10日より12日までの3日間行いました。

平成18年度の 主な工事

- 宝満山急傾斜地崩壊防止工事 19、06万円
- 南小学校給食室増改築工事 2、958万円
- 小学校 アスベスト除去改修工事 2、330万円
- 中学校校舎、体育館 アスベスト除去改修工事 2、826万円
- 志免中学校プール改修工事 1、900万円

公民館活動(29町内会)	1,582
町内会(会長・組長手当)	3,560
集団資源回収奨励	2,541
シルバー人材センター	1,560
福祉巡回バス	916
福祉タクシー	626
知的障害者共同作業所	620
袖の木学園	598
私立幼稚園就園奨励(639人)	4,820
子育てサークル	40
老人クラブ	184
敬老会(連合会も含む)	487
防犯灯	515
商工会育成	1,200



▲南小給食室

実質収入 は、平成18年度決算では一般会計で3億8、554万円の黒字となっています。

地方交付金 は、平成12年度から比較すると7億6、000万円の減となっています。

借金(町債) の残高は、88億円です。昨年より3億円減となり、町民1人当たり21万円です。

町の財政状況 をあらわす財政力指数は0.743で昨年より0.02ポイント高く、好転していますが、財政の弾力性を示す経常収支比率は昨年よりさらに高く、93.7%で一般財政の硬直化が進んでいます。さらに行財政改革の積極的な取り組みが必要です。

町の経営 は、住民が納めた税金・料金などで行われています。町税は前年度比2.1%増となっています。

借金の残高 は、88億円です。昨年より3億円減となり、町民1人当たり21万円です。

行財政改革 の成果として、正職員の削減、補助金等の見直しにより前年に比べ約8、300万円の経費の削減効果が認められています。

決算特別委員会

議長、監査を除く(14人)による決算審査。

委員長 助村 千代子

副委員長 丸山 真智子